



経済学部

学部長からの挨拶

学部長

小林 毅

経済学は

身近な問題を扱っています。

経済問題に関心を持ちましょう。

世界では、貧富の差の拡大や地球規模の環境問題、エネルギー問題、食糧問題などが深刻化しています。日本も生産性の低迷や労働力不足の問題、少子高齢化による年金や医療の問題、国や地方自治体の債務問題など、多くの問題を抱えています。さらに震災後の復興は大きな課題です。こうした問題を経済学の立場から理解し、解決のための方策を考え、人々がどうすれば幸せな生活を送れるかを追究することこそ、経済学を学ぶ意義といえます。

私たちは新聞やテレビなどさまざまなメディアを通して、経済学が研究対象としている政策や課題を見聞きしています。これから経済学を学ぶにあたり、これら多くの課題に対して関心を深めてほしいと思います。

Learning Point



新聞やニュースを見る習慣を身につけましょう。

入学に向けて、新聞やテレビのニュース番組を見る習慣を身につけましょう。自分の視野や知識が広がるはずです。

数学は経済学を理解するための道具です

経済学では、多くの分野で数学を分析ツールとして用います。中京大学経済学部においても、物事を理論的にとらえる力を養うために数学の基礎的な知識が求められます。たとえば経済の状態を判断する際には「価格」、「消費量」、「生産量」といった経済データを調べたり、それらの関係を探ったり、分析したりします。このため、入学前の期間に高校で学んだ数学の総復習に取り組んでほしいと思います。ただし高度な数学が必要なわけではありませんし、数学がどうしても苦手という人には数学を使わないコースも用意されています。